Nikon

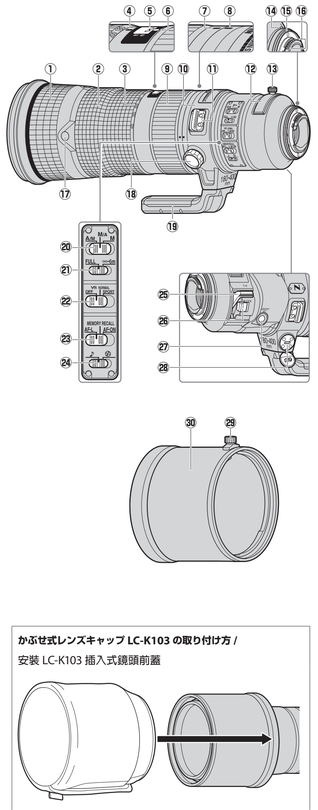
NIKKOR

AF-S NIKKOR 180-400mm f/4E TC1.4 FL ED VR

Jp 使用説明書
Tc 使用說明書
Sc 使用说明书

Printed in Japan
SB8I03(3M)
7MA0503M-03 △

NIKON CORPORATION



かぶせレンズキャップ LC-K103 の取り付け方 / 安装 LC-K103 插入式鏡頭前蓋

レンズの持ち運びについて
レンズを持ち運ぶとき、またはレンズをカメラに装着した状態で持ち運ぶときは必ずレンズキャップを取り付けてください。

運輸鏡頭
運輸鏡頭或者運輸安裝有鏡頭的相機之前，請務必先蓋上鏡頭蓋。

日本語

ご使用の前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、カメラの説明書もご覧ください。

- このレンズは、デジタル一眼レフカメラの D2 シリーズ、D1 シリーズ、D200、D100、D90、D80、D70 シリーズ、D60、D50、D40 シリーズ、D3000、およびフィルム一眼レフカメラには対応していません。

■ このレンズについて

このレンズは、テレコンバーターを内蔵しています。内蔵テレコンバーター切り換えレバーを操作すると、レンズの焦点距離を 1 倍と 1.4 倍に切り換えることができます。

■ 安全上のご注意

あなた や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、ご使用の前に「安全上のご注意」をよくお読みのと、正しくお使いください。
この説明書を お読みになった後は、いつでも参照できるように保管してください。

警告「死にまたは重傷を負うおそれがある内容」です。

注意「軽傷を負うことや財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

おfar りいただく内容を、以下の図記号で区分しています。

し、してはいけない内容です。

は、実行しなければならない内容です。

⚠ 警告

- **分解禁止**：分解、修理または改造をしない
- **実行**：落下などによる破損で内部が露出したら、露出部に触らない
- **禁止**：熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、直ちにカメラの電源を取り外す
- **禁止**：水でぬらさない
- **禁止**：ぬれた手で触らない
- **禁止**：引火、爆発のおそれのある場所では使わない
- **禁止**：レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ない
- **禁止**：幼児の手の届くところに置かない
- **禁止**：ストラップ類を首に巻きつけない
- **禁止**：高温環境や低温環境では、直接触らない
- **禁止**：三脚取付ネジ部に注意する

⚠ 注意

- **禁止**：レンズを太陽や強い光源に向けたまましない
- **禁止**：夏場の車内や直射日光の当たる所など高温環境に放置しない
- **禁止**：三脚などにカメラやレンズを取り付けたまま移動しない

■ 各部の名称

① すべり止めゴム
② ズームリング
③ 焦点距離目盛
④ 焦点距離目盛指標
⑤ 距離目盛
⑥ 距離目盛基準線
⑦ レンズ取付配位置標
⑧ 三脚座リング回転位置指標
⑨ フォーカススリング
⑩ 三脚座リング
⑪ 尾ひれ
⑫ 組み込み式フィルターホルダー
⑬ 組み込み式フィルターホルダーつまみ
⑭ レンズ着脱指標
⑮ レンズマウントゴムリング
⑯ CPU 信号接点
⑰ フォーカス作動ボタン（フォーカスロック / メモリーリコール / AF 作動）
⑱ 三脚座リング上ネジ
⑲ 組み込み式回転三脚座
⑳ フォーカスモード切り換えスイッチ
㉑ フォーカス制限切り換えスイッチ
㉒ チプレ機能スイッチ
㉓ フォーカス作動設定スイッチ（フォーカスロック / メモリーリコール / AF 作動）
㉔ 電子音スイッチ
㉕ 内蔵テレコンバーター切り換えレバー
㉖ 内蔵テレコンバーター切り換えレバーロックスイッチ
㉗ メモリーセット ボタン
㉘ セキュリティースロット（盗難防止用セキュリティーワイヤー取り付け部）
㉙ クランプノブ
㉚ フード

■ ピント合わせの方法

撮影目的によって、下表のようなピント合わせが選択できます。カメラのフォーカスモードについては、カメラの説明書をご覧ください。

カメラのフォーカスモード	レンズのフォーカスモード切り換えスイッチ		
	A/M	M/A	M
AF	オートフォーカス（オート優先オートフォーカス）	オートフォーカス（マニュアル優先オートフォーカス）	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）
MF	マニュアルフォーカス（フォーカスエイド可）		

M/A（マニュアル優先オートフォーカスモード）と A/M（オート優先オートフォーカスモード）について

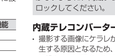
- **M/A**：フォーカスリングを回転させると、瞬時にマニュアルフォーカス撮影が行えます。
- **A/M**：フォーカスリングを回転させても、瞬時にはマニュアルフォーカスに切り換わりません。オートフォーカスを優先させたいときに使用ください。

オートフォーカス撮影中のマニュアルフォーカスについて
オートフォーカス撮影中にマニュアルフォーカスに切り換えることができます。

1 **レンズのフォーカスモード切り換えスイッチを［A/M］または［M/A］にセットする**
2 **オートフォーカス撮影時、カメラのシャッターボタンを半押ししたまま、あるいはカメラの AF-ON（AF 作動）ボタンまたはレンズのフォーカス作動ボタン（フォーカス作動設定スイッチ：AF-ON）を保持したまま、フォーカスリングを手で回転させる**
- マニュアルフォーカス撮影が行えます。
- カメラのシャッターボタンを再度半押ししたり、カメラの AF-ON（AF 作動）ボタンまたはレンズのフォーカス作動ボタンを再度操作すると、オートフォーカスで撮影が行えます。

■ フォーカス制限切り換えスイッチの使い方

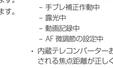
オートフォーカスで撮影する場合に使える機能です。



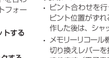
FULL：すべての撮影距離で使用できます。
∞～6m：撮影距離が常に 6 m 以上の場合にセットします。ピント合わせの時間を短縮できます。

■ フォーカス作動設定スイッチとフォーカス作動ボタンの使い方

フォーカス作動設定スイッチで、フォーカス作動ボタンの機能を次のように設定できます。



フォーカス作動設定スイッチ	フォーカス作動ボタンの機能
AF-L	フォーカスロック
MEMORY RECALL	メモリーリコール
AF-ON	オートフォーカス作動



- フォーカス作動ボタンは、4 個のうちいずれかを押すと機能します。
- フォーカス作動ボタンは、ご希望の位置に改造（回転）できます。詳しくは、ニコンサービス機関へお問い合わせください。

フォーカス作動設定スイッチを［AF-L］にセットした場合
フォーカス作動ボタンを押している間、ピントが固定されます。ピントを合わせたい被写体がいずれのフォーカスポイントにも入らないときや、オートフォーカスが苦手な被写体を撮影するときに便利です。

1 **フォーカスモードを切り換えスイッチを［M/A］または［A/M］にセットする**
2 **フォーカス作動設定スイッチを［AF-L］にセットする**
3 **オートフォーカス中にフォーカス作動ボタンを押し、フォーカスをロックする**
- フォーカス作動ボタンを押している間、ピントが固定されます。
- フォーカスロックはカメラ側でも行えます。

フォーカス作動設定スイッチを［MEMORY RECALL］にセットした場合
レンズにピントの位置を記憶させて、瞬時に呼び出すことができます。決まったピント位置で繰返し撮影する場合に便利です。メモリーリコールは、メモリーセットボタンを押したときと同じ焦点距離で使用してください。

ピントの位置を記憶させる

1 **電子音スイッチを♪にセットする**
2 **被写体にピントを合わせる**
3 **メモリーセットボタンを押す**

- 正しく記憶された場合は、ピッと鳴ります。
- 正しく記憶されなかった場合は、ピッピッピッピーと鳴り、距離目盛が左右に 10 回程度振れます。もう一度ピント位置を記憶させてください。
- ピント位置の記憶は、フォーカスモードやフォーカス作動設定スイッチ等の設定にかかわらず可能です。
- カメラの電源を OFF にしたり、レンズをカメラから取り外してもピント位置を記憶しています。

メモリーリコールを使って撮影する

1 **フォーカス作動設定スイッチを［MEMORY RECALL］にセットする**
2 **フォーカス作動ボタンを押し、ピピッと鳴ったら撮影する**
- シャッターボタンを半押ししてもも、フォーカス作動ボタンを押すと記憶させたピント位置にセットされます。
- フォーカス作動ボタンは、シャッターがさわるまで押し続けてください。
- フォーカス作動ボタンから指を離すと、通常のオートフォーカスまたはマニュアルフォーカスに戻ります。
- メモリーセット時と は異なる焦点距離でメモリーリコールを行った場合、微妙にピント位置がずれることがあります（電子音スイッチを♪にセットしていても鳴りません。警告音が鳴ります）。特に、メモリーセットした焦点距離よりも手レ側でメモリーリコールをすることは注意してください。

電子音スイッチについて
メモリーリコール操作時の電子音を鳴らすかどうかを切り換えられます。

♪：電子音が鳴ります。
🔇：電子音が鳴りません。

フォーカス作動設定スイッチを［AF-ON］にセットした場合
フォーカス作動ボタンを押している間、カメラが自動的に被写体にピントを合わせます。

1 **フォーカスモードを切り換えスイッチを［A/M］または［M/A］にセットする**
2 **フォーカス作動設定スイッチを［AF-ON］にセットする**
3 **フォーカス作動ボタンを押してピントを合わせる行う**
- フォーカス作動ボタンを押している間はオートフォーカスが作動します。
- オートフォーカス作動はカメラ側でも行えます。

フォーカス作動ボタンへの機能の割り当てについて
カメラでフォーカス作動ボタンを押したときの機能を割り当てる場合は、フォーカス作動設定スイッチを［AF-L］に設定してください。
- 割り当てられる機能と割り当ての方法については、カメラの説明書をご覧ください。

■ ズーミング

ズーミングは、ズームリングを回転させることで行えます（焦点距離が変化します）。撮影を行うときは、ズーミングして構図を決めてからピント合わせを行ってください。

■ 焦点距離について

焦点距離目盛の表示は、距離目盛を∞に合わせたときの焦点距離です。撮影距離が∞から離れるにしたがって焦点距離は変化します。

■ 被写界深度

プレビュー（絞り込み）機構を持つカメラでは、撮影前にファインダー内で被写体の前後のピントが合う範囲（被写界深度）を確認できます。

■ 距離目盛について

距離目盛は目安であり、被写体までの距離を保証するものではありません。また、強倍率撮影でも被写界深度などの影響により∞マークに届かない位置でピントが合う場合があります。

■ 絞り値について

- 絞り値は、カメラ側で設定してください。
- 絞り値によっては、連続撮影速度が低下する場合があります。

■ 手ブレ補正機能

手ブレ補正機能を使用すると、使わないときと比べて 4.0 段（NORMAL モード使用時）*シャッタースピードを遅くして撮影できます。
※CIPA 規格準拠。ただし、FX フォーマット対応レンズは FX フォーマットデジタル一眼レフ使用時、DX レンズは DX フォーマットデジタル一眼レフ使用時。ズームレンズは最も望遠側で測定。

手ブレ補正スイッチの使い方

OFF：手ブレ補正を行いません。
NORMAL：シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正を開始します。手ブレ補正効果が高く、静止している被写体を撮影するときなどに適しています。
SPORT：シャッターボタンを半押しすると、手ブレ補正を開始します。スポーツなど動きの変化が激しい被写体を撮影する場合に適しています。

手ブレ補正使用時のご注意

- シャッターボタンを半押し後、ファインダー像が安定してから撮影することをおすすめします。
- 手ブレ補正の原理上、シャッターレリーズ後にファインダー像がわずかに動くことがあります。フォーカスロックはできません。
- 流し撮りには、NORMAL モードと SPORT モードのどちらも対応していますが、SPORT モードにしてみることをおすすめします。
- NORMAL モードまたは SPORT モードで流し撮りなどをしてカメラの向きを大きく変えた場合、流した方向の手ブレ補正は機能しません。例えば、横方向に流し撮りすると、縦方向の手ブレだけが補正されます。
- 手ブレ補正中にカメラの電源を OFF にしたり、レンズを取り外したりしないでください（その状態でレンズを振るとカタカタ音がすることがありますが、故障ではありません。カメラの電源スイッチを再度 ON にすれば、音は消えます）。
- 内蔵フラッシュ搭載のカメラで、内蔵フラッシュの充電中は、手ブレ補正は行いません。
- 三脚撮影時に NORMAL モードまたは SPORT モードにすると、三脚ブレを軽減します。ただし、三脚の種類や撮影条件により、OFF にした方がよい場合があります。
- 一脚を使用するときには、NORMAL モードまたは SPORT モードにすることをおすすめします。

■ 内蔵テレコンバーターについて

内蔵テレコンバーターの使い方
内蔵テレコンバーターを使うと、焦点距離を 1.4 倍に切り換えることができます。内蔵テレコンバーターはファインダー撮影、ライブビュー撮影、動画撮影のいずれの撮影モードでも使うことができます。下記の手順で内蔵テレコンバーター切り換えレバーを操作してから、撮影を開始してください。

1 **内蔵テレコンバーター切り換えレバーロックスイッチを矢印の方向にスライドする（●）**
- 内蔵テレコンバーター切り換えレバーのロックが解除されます。
2 **内蔵テレコンバーター切り換えレバーで 1.4 × に切り換える（●）**

3 **内蔵テレコンバーター切り換えレバーロックスイッチを矢印の方向にスライドする（●）**
- 内蔵テレコンバーター切り換えレバーがロックされます。
- 内蔵テレコンバーターを使用しないときは、逆の手順で 1 ×に戻してください。

内蔵テレコンバーター切り換えレバーのロックについて
焦点距離を切り換えた後、内蔵テレコンバーター切り換えレバーが不用意に動かないように、内蔵テレコンバーター切り換えレバーロックスイッチで必ずロックしてください。

内蔵テレコンバーターについてのご注意
- 撮影する画像にぐちゃけが生じたり、適正露出に撮影できなかったり、誤作動が発生する原因となるため、次のような場合には内蔵テレコンバーター切り換えレバーを操作しないでください。
  - オートフォーカス作動中
  - 手ブレ補正作動中
  - 露光中
  - 動画記録中
  - AF 微調節の設定中
- 内蔵テレコンバーターは、ご購入時に、標準倍率（1 ×）にセットされています。
※ 内蔵テレコンバーター使用時、撮影情報などに表示される焦点距離が正しく表示されない場合があります。

内蔵テレコンバーター切り換えによるピント位置について
- ピント合わせを行ってから内蔵テレコンバーター切り換えレバーを操作すると、ピント位置がずれる場合があります。内蔵テレコンバーター切り換えレバーを操作した後は、シャッターを切る前に再度ピント合わせを行ってください。
- メモリーリコール機能でピント位置を記憶させている場合、内蔵テレコンバーター切り換えレバーを操作してメモリーリコールを行うと、記憶されたピント位置がずれます（電子音スイッチを♪にセットしている場合は、警告音が鳴ります）。メモリーリコール機能でピント位置を記憶させる場合は、内蔵テレコンバーター切り換えレバーを操作してから行ってください。

レンズのファームウェアのバージョンアップについて
レンズのファームウェアのバージョンアップを行う場合は、焦点距離が 1 倍であることを確認してください。内蔵テレコンバーター切り換えレバーを操作して焦点距離が 1.4 倍に切り換わっている状態では、ファームウェアのバージョンアップは行えません。また、ファームアップ中に内蔵テレコンバーター切り換えレバーを操作しないでください。

■ フードについて

画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。

取り付け方

- クランプノブをしっかり締めてください（❷）。
- フードが正しく取り付けられないと撮影画面にケラレが生じますのでご注意ください。
- 収納時はフードを逆向きにしてレンズに取り付けられます。

■ 組み込み式回転三脚座の使い方

三脚は、カメラ側ではなくレンズ側の三脚座に取り付けてください。
- 三脚の形状によっては、カメラのグリップと干渉して水平にカメラを回転した際、三脚に手が当つかることがありますので、ご注意ください。

カメラの位置変更

レンズの三脚座リング止めネジを少し緩め（❶）、カメラの縦位置または横位置に応じてレンズを回転させ（❷）、三脚座リングのネジを締めて固定します（❸）。

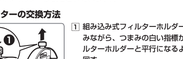
■ セキュリティースロットについて

市販の盗難防止用セキュリティーワイヤーを取り付けることができます。取り付け方はセキュリティーワイヤーの説明書をご覧ください。

■ フィルターについて

撮影の際は、必ずフィルターをお使いください（お買い上げ時は、ニュートラルカラー NC フィルターが装着されています）。

フィルターの交換方法



1 **組み込み式フィルターホルダーつまみを押しふみながら、つまみの白い指標が組み込み式フィルターホルダーと平行になるまで回時計方向に回す**
2 **組み込み式フィルターホルダーを抜き取る**
3 **装着されているフィルターを取り出す**

4 **40.5mm ネジ込み式フィルターを、Nikon JAPAN の表示がる面よりはめる**
- 組み込み式フィルターホルダーは、カメラ側または被写体側のどちらの側に向けて取り付けても、撮影に影響はありません。

別売の組み込み式円偏光フィルター C-PL405 について
- ガラスなどの非金属面や水面の反射光をカットする場合におすすめします。
- 付属の組み込み式フィルターホルダーとスリ入れ換えてお使いください。
- レンズへの装着は確実に行ってください。防塵、防滴構造にはなっておりますものでご注意ください。
- 距離目盛は正常な位置からずれ、最短近わずかに長くなります。
- メモリーリコールを使用する場合は、ピントを記憶させる前に装着してください。
- 高温、高湿下および直射日光があたる場所での長時間の保管は避けてください。

■ レンズのお手入れと取り扱い上のご注意

- レンズをカメラから取り外すと、絞りが開放状態になります。レンズ内部を保護するために、レンズキャップを取り付けるか、太陽光のあたらない所に保管してください。
- レンズをカメラに装着した状態で、カメラだけを持たないでください。カメラ（マウント部分）破損のおそれがありますので、必ずレンズも持ってください。
- フードをレンズに装着した状態で、フードだけを持たないでください。
- CPU 信号接点は汚さないようにご注意ください。
- レンズマウントゴムリングが破損した場合は、そのまま使用せず販売店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- レンズ面を清掃する場合、通常はホコリ払い程度にしてください。
- 最前面のレンズ面はフッ素コート加工されています。乾いた布で軽く拭くだけで、汚れを取り除くことができます。指紋などの汚れがついたときは、柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ渦巻き状に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。汚れがひどいときは、少量の真水、無水アルコール（エタノール）、または市販のレンズクリーナーで湿らせた柔らかい布を使って軽く拭いてください。フッ素コート加工されたレンズ面は、傷が生、指紋付が取りやすい。水滴状の拭き残りが生じることがありますので、ご注意ください。
- 最後面（レンズマウント側）のレンズ面または組み込み式フィルターの表面に指紋がついたときは、少量の無水アルコール（エタノール）や市販のレンズクリーナーで湿らせた柔らかい清潔な木綿の布または市販のレンズクリーニングペーパーを使って、レンズの中心から外周へ渦巻き状に拭いてください。その場合、拭きムラや拭き残りがないように注意してください。
- シンナーやベンジンなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- レンズをケースに入れるときは、必ずかぶせレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- レンズをケースに入れるときは、必ずかぶせレンズキャップと裏ぶたを取り付けてください。
- 極強倍率の撮影レンズ（ニコン指定の配送業者（ヤマト運輸）に不送付）。修理内容に関する問い合わせはこちらにお答えできません。修理内容に関する問い合わせは修理センターへお問いします。

■ サービスセンターでのお手続き

ニコンプラザのサービスセンター窓口でお見積り・受付をいたします。

修理品を お預けいただく場合のご注意
- ボディーキャップやレンズキャップが付属している製品の場合は、製品保護のため、装着してお預けください。
- 修理に必要と思われるものは外の付属品を、ご自身で保管ください。
- カメラなどの修理では、受付や修理の過程で撮影データや中の写真が消去する場合があります。大切なデータはお まかバックアップをお取りください。

修理に関するお問い合わせ先

株式会社ニコンイメージングジャパン修理センター
修理センター ナビダイヤル
0570-02-8200
営業時間：9：30 ～ 18：00（土曜日、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業日などが社定休日を除く毎日）
- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

ニコンプラザについて

ニコンプラザは、ショールーム、サービスセンター、ギャラリーを統合したニコン映像製品の総合情報拠点です。
※ニコンプラザサービスセンターは持ち込み修理の受け付けを行っています。

ニコンプラザショールーム ナビダイヤル
0570-02-8080
ニコンプラザサービスセンター ナビダイヤル
0570-02-8060
- 音声ガイダンスにしたがってご利用ください。
- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。

ニコンプラザの所在地、営業時間などについては、下記 URL をご覧ください。
http://www.nikon-image.com/support/showroom/

製品の使い方に関するお問い合わせ先

インターネットでのお問い合わせ
http://www.nikon-image.com/support/contact/

お電話でのお問い合わせ
ニコンカスタマーサポートセンター ナビダイヤル
0570-02-8000
営業時間：9：30 ～ 18：00（年末年始、夏期休業日等を除く毎日）
- ナビダイヤルは一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、ニコンカスタマーサポートセンター（03）6702-0577 におかけください。
- ファクシミリは、（03）5977-7499 にお送りください。

お問い合わせ時のお願い
- おわかりになる範囲で「製品名」、「製品番号」、「ご購入日」、問題が発生した場合は「手順」、「現象（表示されたメッセージ）」、「発生頻度」などをご確認のうえ、お問い合わせください。

ニコンイメージング会員「製品登録」のご案内

ニコンでは製品を安全に、安心してご使用いただくため「製品登録」へのご協力をお願いしております。ご登録いただいた製品に関するファームアップ情報や重要なお知らせなどをメールでご案内いたします。

■ 製品登録方法

製品は、「ニコンイメージング会員」（無料）の「製品登録」ページからご登録いただけます。
ニコンイメージング会員登録および製品登録は以下ニコンホームページからお手続きください。

ニコンイメージング会員のご案内
http://www.nikon-image.com/enjoy/membership/about/

■ ニコンイメージング会員とは

登録製品に関するサポート情報・ニコン製品情報や、お得で便利な会員特典「などフォトトライ をよりお楽しみいただくための会員サービスです。
※特典は登録製品ごとに異なります。

ご注意

- ご登録にはメールアドレスとインターネットに接続できる環境が必要です。
- 登録製品の製品番号（製品本体あるいは保証書に記載）が必要です。
- 特典の内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

ニコンイメージングサポートページのご案内

http://www.nikon-image.com/support/

最新の製品テクニカル情報や、ソフトウェアのアップデート情報をご覧いただけます。製品をより有効にご利用いただくために、定期的にアクセスをおすすめします。

繁體中文

在使用本產品前，請仔細閱讀這些使用說明和相機說明書。
注意：本鏡頭不支援 D2 系列、D1 系列、D200、D100、D90、D80、D70 系列、D60、D50、D40 系列、以及 D3000 數碼單鏡反光相機和菲林單鏡反光相機。

■ 關於本鏡頭

本鏡頭具備一個內置增距鏡。使用增距鏡開關可在焦距倍數 1 倍和 1.4 倍之間進行切換。

■ 安全須知

為防止您的財產受損或者您自己或他人受傷，在使用本產品之前，請全面閱讀「安全須知」。

請妥善保管這些安全指南，以便本產品的所有使用者可隨時查閱。

警告：若不遵守標有該圖示的注意事項，可能會導致死亡或嚴重受傷。

注意事項：若不遵守標有該圖示的注意事項，可能會導致受傷或財產受損。

⚠ 警告

- **分解禁止**：勿自行拆解或改裝本產品。
- **禁止**：勿觸碰由於摔落或其他意外事故而外露的內部零件。若不遵守此注意事項，可能會導致觸電或其他傷害。
- **禁止**：若發現任何不正常現象，如本產品冒煙、發熱或異味等，請立即關閉相機電源。若在此情形下繼續使用，可能會導致起火、灼傷或其他傷害。
- **禁止**：保持乾爽。勿用濕手進行操作。若不遵守此注意事項，可能會導致起火或觸電。
- **禁止**：勿在有閃電、汽油或煙霧等易燃性物體或氣體的場所使用本產品。若不遵守此注意事項，可能會導致爆炸或火災。
- **禁止**：勿透過鏡頭或相機直接觀看太陽或其他明亮光源。若不遵守此注意事項，可能會導致視覺損傷。
- **禁止**：勿在兒童申手可及之處保管本產品。若不遵守此注意事項，可能會導致受傷或產品故障。另外，請注意細小部件有導致窒息的危險。若兒童誤吞了本產品的任何部件，請立即尋求醫療協助。
- **禁止**：勿將帶子纏繞在頸部。若不遵守此注意事項，可能會導致事故。
- **禁止**：在溫度極高或極低的場所，勿用樓手直接接觸。若不遵守此注意事項，可能會導致灼傷或凍傷。

⚠ 注意事項

- 勿將鏡頭對準太陽或其他強光源。透過鏡頭聚焦的光線為火源，並且會對產品的內部零件造成損壞。
- 勿將本產品長時間放置在極其高溫的地方，如封閉的車內或直射陽光下。若不遵守此注意事項，可能會導致起火或產品故障。
- 勿運送安裝了三腳架或類似配件的相機或鏡頭。若不遵守此注意事項，可能會導致受傷或產品故障。

■ 鏡頭部件

① 橡膠手柄
② 變焦環
③ 焦距尺
④ 焦距標記
⑤ 對焦距離指示器
⑥ 對焦距離標記
⑦ 鏡頭裝配標記
⑧ 三腳架固定環旋轉標記
⑨ 對焦環
⑩ 三腳架固定環
⑪ 吊帶孔
⑫ 插入式遮鏡支架
⑬ 插入式遮鏡支架螺絲
⑭ 鏡頭接環標記
⑮ 橡膠鏡頭接環密封墊
⑯ CPU 接點
⑰ 對焦功能按鍵（對焦鎖定 / 記憶預設對焦 /AF 啓動）
⑱ 三腳架固定環安裝螺絲
⑲ 內置旋轉式三腳架固定環
⑳ 對焦模式切換器
㉑ 對焦限制切換器
㉒ 減震開關
㉓ 對焦功能選擇器（AF-L/MEMORY RECALL/AF-ON）
㉔ 蜂鳴音開啓 / 關閉開關
㉕ 增距鏡開關
㉖ 增距鏡開關鎖定
㉗ 記憶設定按鍵
㉘ 安全鎖（用於安全鎖鎖扣）
㉙ 遮光罩螺絲
㉚ 遮光罩

■ 對焦

所支援的對焦模式如下表所示（有關相機對焦模式的資訊，請參見相機說明書）。

相機對焦模式	鏡頭對焦模式切換器		
	A/M	M/A	M
AF	自動對焦（連手動優先）（AF 優先）	自動對焦（連手動優先）（手動優先）	帶有電子測距器的手動對焦
MF	帶有電子測距器的手動對焦		

A/M 和 M/A 模式
- **M/A**（手動優先）：透過旋轉鏡頭對焦環可迅速使手動對焦優先於自動對焦。
- **A/M**（AF 優先）：對焦環必須進一步旋轉才能使手動對焦優先於自動對焦。除此之外，其他與上述相同。選擇該選項可更依賴自動對焦。

自動對焦（連手動優先）
在自動對焦模式下使用手動對焦的步驟如下：

1 **將鏡頭對焦模式切換器推至 A/M 或 M/A。**
2 **對焦。**
相機處於自動對焦模式時，您可在半按快門釋放按鍵或者按下 **AF-ON** 按鍵（若相機配備一個 **AF-ON** 按鍵，則按下相機上的 **AF-ON** 按鍵，若對焦功能選擇器位於 **AF-ON** 位置，則按下鏡頭對焦功能按鍵）期間旋轉鏡頭對焦環使手動對焦優先於自動對焦。若要使用自動對焦以重新對焦，請再次半按快門釋放按鍵或者再次按下 **AF-ON** 按鍵。

對焦限制切換器
該切換器決定自動對焦的對焦距離極限值。

- **FULL**（全部）：選擇該選項可使用整個對焦範圍。
- **∞～6m**：若主體總是位於至少 6 m 的距離處，選擇該選項可獲得更快的對焦。

■ 對焦功能按鍵和選擇器

使用對焦功能選擇器可選擇指定給對焦功能按鍵的功能。

對焦功能選擇器	對焦功能按鍵
AF-L	對焦鎖定
MEMORY RECALL	記憶預設對焦
AF-ON	鏡頭 AF 啓動

按下 4 個功能按鍵中的任意一個即可執行指定的功能。對焦控鍵可旋轉至新的位置：有關詳情，請與尼康授權服務人員聯絡。

對焦鎖定（AF-L）
當使用對焦功能選擇器選擇了 **AF-L** 時，對焦將在按下對焦功能按鍵期間鎖定。您可在對焦後使用對焦鎖定重新構圖，或者當前動對焦無法對焦於所選主體時，則在對焦於相同距離的其他物體之後重新構圖。

1 **將鏡頭對焦模式切換器推至 A/M 或 M/A。**
2 **將對焦功能選擇器推至 AF-L。**
3 **鎖定對焦。**
按下任一對焦功能按鍵即可鎖定對焦，按住則可保持鎖定。使用相機控制也可鎖定對焦。

記憶預設對焦
儲存和啓用常用鏡頭對焦位置。啓用已儲存的對焦位置之前，請先將鏡頭設為儲存該位置時有效的焦距。

儲存對焦位置

1 **將蜂鳴音開啓 / 關閉開關滑至♪。**
2 **對焦。**
3 **按下記憶設定按鍵。**
無論對焦功能選擇器處於何種位置，您都可在任何對焦模式下進行該操作。操作成功時會發出蜂鳴音。若操作失敗，對焦距離指示器將會來回循環大約 10 次，並且鏡頭將會發出 1 聲短蜂鳴音，隨後發出 3 聲長蜂鳴音：請再次對焦並按下記憶設定按鍵。若相機已關閉或鏡頭被取下，儲存的距離將不會刪除。

使用儲存的對焦位置

1 **將對焦功能選擇器推至 MEMORY RECALL。**
2 **調用儲存的對焦距離。**
按下任一對焦功能按鍵以儲存的距離進行對焦。即使半按快門釋放按鍵，相機也會以儲存的距離重新對焦：釋放對焦功能按鍵時將恢復正常對焦。請保持按下對焦功能按鍵直至拍攝完相片。
請注意，若目前焦距不同於儲存對焦位置時所選的值，對焦距離將與所儲存的值稍有不同（若蜂鳴音開啓 / 關閉開關位於 ♪ 位置，將發出一聲警告蜂鳴音）。若無距長於儲存對焦位置時所選的值，您需特別注意。

蜂鳴音開啓 / 關閉開關
蜂鳴音開啓 / 關閉開關可用於開啓或關閉記憶設定和記憶預設對焦操作過程中發出的蜂鳴音。

- ♪：蜂鳴音開啓。
- 🔇：蜂鳴音關閉。

AF 啓動（AF-ON）
當對焦功能選擇器位於 **AF-ON** 位置時，您可按下鏡頭對焦功能按鍵以使用自動對焦進行對焦。

1 **將鏡頭對焦模式切換器推至 A/M 或 M/A。**
2 **將對焦功能選擇器推至 AF-ON。**
3 **對焦。**
按下任一對焦功能按鍵使用自動對焦進行對焦。您也可使用相機控制進行對焦。

將功能指定給對焦功能按鍵
使用相機控制將功能指定給對焦功能按鍵之前，請先將對焦功能選擇器滑至 **AF-L**。有關按鍵指定的資訊，請參見相機說明書。

■ 變焦

對焦之前，請旋轉變焦環調整焦距並進行構圖。

■ 焦距

焦距尺上所示的焦距為對焦距離設為無限遠時的焦距。焦距隨對焦距離的縮短而變化。

■ 景深

使用相機的景深預覽功能可預覽景深。

■ 對焦距離指示器

請注意，對焦距離指示器僅可作為指南，可能無法準確顯示離主體的距離，並且由於景深或其他因素的影響，相機對焦於遠距離物體時可能不會顯示 ∞。

■ 光圈

請使用相機控制調整光圈。在某些光圈下，每秒拍攝幅數可能會降低。

■ 減震（VR）

減震（VR）可減少相機震動所引起的模糊，從而使快門速度可比一般情況開啟多達 4.0 檔（使用內置增距鏡時為 4.0 檔），同時增加可用快門速度的範圍。減震對快門速度的影響是在 NORMAL（標準）模式下根據日本相機與影像產品協會（CIPA）標準所測量。測量 FX 格式鏡頭時使用的是 FX 格式數碼相機，測量 DX 格式鏡頭時使用的是 DX 格式相機。變焦鏡頭是在最大變焦設定下進行的測量。

使用減震開關

- **選擇 OFF（關閉）**可關閉減震。
- **選擇 NORMAL（標準）**可在拍攝靜止主體時增強減震。半按快門釋放按鍵時減震生效。
- **選擇 SPORT（運動）**可拍攝運動員和其他正在進行迅速且不可預測運動的主體。半按快門釋放按鍵時減震生效。

使用減震：注意事項
- 使用減震時，請先半按快門釋放按鍵，待觀景器中的影像穩定之後再完全按下快門釋放按鍵。
- 當減震處於有效狀態時，釋放快門後，觀景器中的影像可能會輕微抖動。這並非故障。
- 搖攝時請使用 **SPORT**（運動），但同時也支援 **NORMAL**（標準）。
-

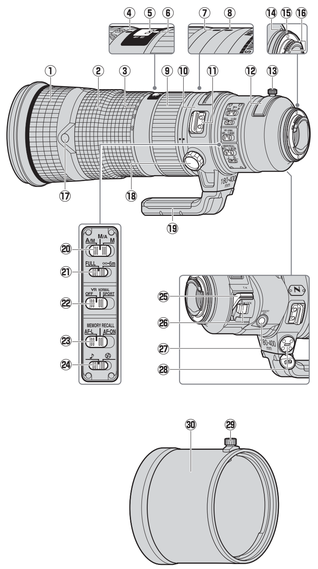
Nikon

NIKKOR

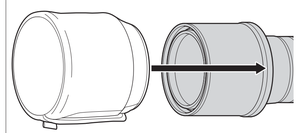
AF-S NIKKOR 180-400mm f/4E TC1.4 FL ED VR

Sc 使用说明书
Jp 使用説明書
Tc 使用說明書

NIKON CORPORATION



安装 LC-K103 插入式镜头前盖



☑ **运输镜头**
运输镜头或者运输安装有镜头的照相机之前，请务必先盖上镜头盖。

中文版（简体）

使用产品前请仔细阅读本使用说明书。

在使用本产品前，请仔细阅读本使用说明书和照相机的说明书。

注意：本镜头不支持D2系列、D1系列、D200、D100、D90、D80、D70系列、D60、D50、D40系列、以及D3000数码单镜反光照相机和胶卷单镜反光照相机。

■ 关于本镜头

本镜头具备一个内置望远倍率镜。使用望远倍率镜开关可在焦距倍数1倍和1.4倍进行切换。

■ 安全须知

为预防对您或他人造成人身伤害或财产损失，请在使用前仔细阅读“安全须知”，并以正确的方法使用。

请在阅读之后妥善保管本使用说明书，以便随时查阅。

⚠ 警告 表示“有可能造成人员死亡或负重伤的内容”。
⚠ 注意 表示“有可能造成人员负轻伤或财产损失的内容”。

本节使用以下图示和符号对必须遵守的内容作以分类。

⃠ 表示不允许进行的行为。
❗ 表示必须进行的行为。

⚠ 警告

禁止拆解	**切勿自行拆解、修理或改装。当产品由于跌落等原因而破损使得内部外露时，切勿触碰外露部分。** 否则将导致触电或受伤。
执行	**当发现产品变热、冒烟或发出焦味等异常时，请立刻切断照相机电源。** 若放任不管，将导致起火或烫伤。
禁止	**切勿使产品被水淋湿。切勿用湿手触碰产品。** 否则将导致触电或起火。
禁止	**切勿在有可能起火、爆炸的场所使用。** 若在有丙烷气、汽油、可燃性喷雾剂等易燃性气体、粉尘的场所使用产品，将导致爆炸或火灾。
禁止	**切勿使用镜头或照相机直接观看太阳或强光。** 否则将导致失明或视觉损伤。
禁止	**切勿在婴幼儿伸手可及之处进行保管。** 否则将导致故障或受伤。若误吞细小部件，将会对身体造成伤害。万一意外吞入口中，请立即接受医生诊疗。
禁止	**切勿将吊带等缠绕在颈部。** 否则将会造成事故。
禁止	**在高温环境或低温环境中，切勿直接接触产品。** 否则将可能导致烫伤、低温烫伤或冻伤。

⚠ 注意

禁止	**切勿将镜头对着太阳或强光。** 通过镜头聚焦的光线为火源，并且会对产品的内部零件造成损坏。
禁止	**切勿放置于夏天封闭的车内或直射阳光下等高温环境中。** 否则将导致故障或起火。
禁止	**切勿移动安装有照相机或镜头的三脚架。** 否则将导致故障或受伤。
禁止	**切勿移动安装有照相机或镜头的三脚架。** 否则将导致故障或受伤。

■ 镜头部件

① 橡胶手柄
② 变焦环
③ 焦距刻度
④ 焦距标记
⑤ 对焦距离指示
⑥ 对焦距离标记
⑦ 镜头旋转标记
⑧ 三脚架固定座环旋转标记
⑨ 对焦环
⑩ 三脚架固定座环
⑪ 吊带孔
⑫ 插入式滤镜支架
⑬ 插入式滤镜支架齿圈
⑭ 镜头安装标记
⑮ 镜头卡口橡胶垫圈
⑯ CPU接点
⑰ 对焦功能按钮（对焦锁定/调用记忆/AF启用）
⑱ 三脚架固定座环安装齿圈
⑲ 内置旋转式三脚架固定座
⑳ 对焦模式切换器
㉑ 对焦限制切换器
㉒ 减震开关
㉓ 对焦功能选择器（AF-L/MEMORY RECALL/AF-ON）
㉔ 蜂鸣音开启/关闭开关
㉕ 望远倍率镜开关
㉖ 望远倍率镜开关锁定
㉗ 记忆设定按钮
㉘ 安全槽（用于安全线锁扣）
㉙ 镜头遮光罩齿圈
㉚ 镜头遮光罩

■ 对焦

所支持的对焦模式如下表所示（有关照相机对焦模式的信息，请参阅照相机的说明书）。

照相机对焦模式	镜头对焦模式切换器		
	A/M	M/A	M
AF	手动优先的自动对焦（AF优先）	手动优先的自动对焦（手动优先）	带有电子测距仪的手动对焦
MF	带有电子测距仪的手动对焦		

A/M和M/A模式

- **M/A（手动优先）**：通过旋转镜头对焦环可迅速使手动对焦优先于自动对焦。
- **A/M（AF优先）**：对焦环必须更进一步旋转才能使手动对焦优先于自动对焦，除此之外，其他与上述相同。选择该选项可更依赖自动对焦，避免摄影师在拍摄时无意间转换至手动对焦。

手动优先的自动对焦

在自动对焦模式下使用手动对焦的步骤如下：

1 将镜头对焦模式切换器推至**A/M**或**M/A**。
2 对焦。
照相机处于自动对焦模式时，您可在半按快门释放按钮或者按下**AF-ON**按钮（若照相机配备一个**AF-ON**按钮，则按下照相机上的**AF-ON**按钮，若对焦功能选择器位于**AF-ON**位置，则按下镜头对焦功能按钮）期间旋转镜头对焦环使手动对焦优先于自动对焦。若要使用自动对焦以重新对焦，请再次半按快门释放按钮或者再次按下**AF-ON**按钮。

对焦限制切换器

该切换器决定自动对焦的对焦距离极限值。

- **FULL**（全部）：选择该选项可使用整个对焦范围。
- **∞–6m**：若拍摄对象总是位于至少6m的距离处，选择该选项可获得更快的对焦。

■ 对焦功能按钮和选择器

使用对焦功能选择器可指定对焦功能按钮的功能。

对焦功能选择器	对焦功能按钮
AF-L	对焦锁定
MEMORY RECALL	调用记忆
AF-ON	镜头AF启用

按下4个功能按钮中的任意一个即可执行指定的功能。对焦按钮可旋转至新的位置；有关详细信息，请与尼康售后服务中心或尼康特约维修店联系。

对焦锁定（AF-L）

当使用对焦功能选择器选择了**AF-L**时，对焦将在按下对焦功能按钮期间锁定。您可在对焦后使用对焦锁定重新构图，或者当自动对焦无法对焦于所选拍摄对象时，则在对焦于相同距离的其他物体之后重新构图。

1 将镜头对焦模式切换器推至**A/M**或**M/A**。
2 将对焦功能选择器推至**AF-L**。
3 锁定对焦。
按下任一对焦功能按钮即可锁定对焦，按住则可保持锁定。使用照相机控制也可锁定对焦。

调用记忆

保存和启用常用镜头对焦位置。启用已保存的对焦位置之前，请先将镜头设为保存该位置时有效的焦距。

保存对焦位置

1 将蜂鸣音开启/关闭开关滑至♪。
2 对焦。
3 按下记忆设定按钮。
无论对焦功能选择器处于何种位置，您都可在任何对焦模式下进行该操作。操作成功时会发出蜂鸣音。若操作失败，对焦距离指示将会来回循环大约10次，并且镜头将会发出1声短蜂鸣音，随后发出3声长蜂鸣音；请再次对焦并按下记忆设定按钮。若照相机已关闭或镜头被取下，保存的距离将不会删除。

使用保存的对焦位置

1 将对焦功能选择器推至**MEMORY RECALL**。
2 调用保存的对焦距离。
按下任一对焦功能按钮以保存的距离进行对焦。即使半按快门释放按钮。照相机也会以保存的距离重新对焦；释放对焦功能按钮时将恢复通常对焦。请保持按下对焦功能按钮直至拍摄完照片。

请注意，若当前焦距不同于保存对焦位置时所选的值，对焦位置将与所保存的值稍有不同（若蜂鸣音开启/关闭开关位于♪位置，将发出一声警告蜂鸣音）。若焦距长于保存对焦位置时所选的值，您需特别注意。

蜂鸣音开启/关闭开关

蜂鸣音开启/关闭开关可用于开启或关闭记忆设定和调用记忆操作过程中发出的蜂鸣音。

- ♪：蜂鸣音开启。
- ⊘：蜂鸣音关闭。

AF启用（AF-ON）

当对焦功能选择器位于**AF-ON**位置时，您可按下镜头对焦功能按钮以使用自动对焦进行对焦。

1 将镜头对焦模式切换器推至**A/M**或**M/A**。
2 将对焦功能选择器推至**AF-ON**。
3 对焦。
按下任一对焦功能按钮使用自动对焦进行对焦。您也可使用照相机控制进行对焦。

☑ **将功能指定给对焦功能按钮**
使用照相机控制将功能指定给对焦功能按钮之前，请先将对焦功能选择器滑至**AF-L**。有关按钮指定的信息，请参阅照相机的说明书。

■ 变焦

对焦之前，请旋转变焦环调整焦距并进行构图。

■ 焦距

焦距刻度上所示的焦距为对焦距离设为无穷远时的焦距。焦距随对焦距离的缩短而变化。

■ 景深

使用照相机的景深预览功能可预览景深。

■ 对焦距离指示

请注意，对焦距离指示仅可作为指南，可能无法准确显示离拍摄对象的距离，并且由于景深或其他因素的影响，照相机对焦于远距离物体时可能不会显示∞。

■ 光圈

请使用照相机控制调整光圈。在某些光圈下，每秒幅数可能会降低。

■ 减震（VR）

减震（VR）可减少照相机震动所引起的模糊，从而使快门速度可比一般情况时最多降低4.0档（使用内置望远倍率镜时为4.0档），同时增加可用快门速度的范围。减震对快门速度的影响是在NORMAL（标准）模式下根据日本国际相机影像器材工业协会（CIPA）标准所测量；测量FX格式镜头时使用的是FX格式数码照相机，测量DX格式镜头时使用的是DX格式照相机。变焦镜头是在最大变焦设定下进行的测量。

使用减震开关

- **选择OFF**（关闭）可关闭减震。
- **选择NORMAL**（标准）可在拍摄静止拍摄对象时增强减震。半按快门释放按钮时减震生效。
- **选择SPORT**（运动）可拍摄运动员和其他正在进行迅速且不可预测运动的拍摄对象。半按快门释放按钮时减震生效。

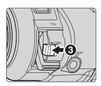
使用减震：注意事项

- 使用减震时，请先半按快门释放按钮，待取景器中的图像稳定之后再完全按下快门释放按钮。
- 当减震处于有效状态时，释放快门后，取景器中的图像可能会轻微抖动。这并非故障。
- 转动照相机进行拍摄时推荐使用**SPORT**（运动），但同时也支持**NORMAL**（标准）。
- 在**NORMAL**（标准）和**SPORT**（运动）模式下，减震仅应用于非转动部分的动作（例如，若照相机进行水平转动，减震将仅应用于垂直方向的震动）。
- 减震处于有效状态时，请勿关闭照相机，也不要取下镜头。若在减震处于有效状态时切断镜头电源，镜头在摇动时将可能发出嘎嘎声。这并非故障，重新安装镜头并开启照相机即可解决该问题。
- 若照相机配备有内置闪光灯，闪光灯充电时减震将无法使用。
- **NORMAL**（标准）和**SPORT**（运动）减震可在照相机固定于三脚架时减少模糊。但是根据三脚架类型和拍摄环境的不同，选择**OFF**（关闭）可能会产生更好的效果。
- 照相机固定于单脚架时推荐使用**NORMAL**（标准）和**SPORT**（运动）。

■ 内置望远倍率镜

内置望远倍率镜可将焦距增加至1.4倍，并且可在动画模式下以及取景器和即时取景静态拍摄过程中使用。拍摄前，请按照下文所述使用望远倍率镜开关启用或禁用内置望远倍率镜。

1 解除望远倍率镜开关的锁定。
按图示方向滑动望远倍率镜开关锁定（❶）解除望远倍率镜开关的锁定。
2 将望远倍率镜开关滑至1.4倍（❷）。



3 锁定望远倍率镜开关。
按图示方向滑动望远倍率镜开关锁定（❸）锁定望远倍率镜开关。

若要禁用内置望远倍率镜，请按照以上步骤将望远倍率镜开关设为1倍。

☑ **望远倍率镜开关锁定**
更改焦距后，请务必锁上望远倍率镜开关锁定以避免意外操作望远倍率镜开关。

使用内置望远倍率镜：注意

以下情况时切勿使用望远倍率镜开关：快门处于打开状态时，自动对焦、减震、动画录制过程中，或微调自动对焦期间。若不遵守此注意事项，将可能干扰曝光或者产生渐晕或其他意外结果。请注意，使用内置或另购望远倍率镜所拍照片中记录的焦距数据可能会不准确。

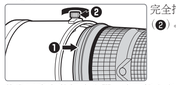
对焦位置

- 对焦后使用望远倍率镜开关可能导致对焦位置发生改变。当使用望远倍率镜开关后进行拍摄时，请务必在释放快门前重新对焦。
- 若您在启用已保存的对焦位置后使用望远倍率镜开关，对焦位置也会发生改变（若蜂鸣音开启/关闭开关位于♪位置，将发出一声警告蜂鸣音）。操作望远倍率镜开关后，请保存对焦位置。

☑ **镜头固件更新**
更新镜头固件前，请确保望远倍率镜开关位于1倍位置。开关位于1.4倍位置时，固件无法更新。固件更新期间，请勿操作开关。

■ 镜头遮光罩

镜头遮光罩可保护镜头并阻挡可能导致杂光或鬼影的散射光线。



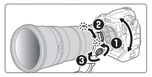
完全拧紧遮光罩齿圈（❷）。

若未正确安装好遮光罩，将可能会产生渐晕。不使用时，可将遮光罩反转并固定在镜头上。

■ 使用内置旋转式三脚架固定座

请将三脚架安装至镜头三脚架固定座而不是照相机。请注意，握住操作手柄旋转照相机时，您的手可能会触碰到三脚架。

重新定位照相机



拧松三脚架固定座环安装齿圈（❶），旋转镜头以与照相机方向一致（❷），然后拧紧齿圈（❸）。

■ 安全槽

安全槽可用于安装第三方安全线锁扣。有关详细信息，请参阅安全线锁扣随附的文档。

■ 滤镜

当使用插入式滤镜支架拍摄照片时，请确认已插入滤镜。支架附带并已安装好一片中性色彩（NC）滤镜。

插入滤镜

1 解除支架的锁定。
将插入式滤镜支架齿圈向下按并逆时针旋转，直至白线与镜头轴成直角。
2 取下插入式滤镜支架。
3 取下附送的滤镜。

4 将40.5mm旋入式滤镜旋入支架上标有“Nikon”和“JAPAN”的一边。
随后您即可以面向拍摄对象或照相机的方向重新插入支架。

使用另购的插入式C-PL405圆形偏振滤镜
C-PL405可用于阻挡来自玻璃、水面和其他非金属表面的不必要反射。不需要插入式滤镜支架；使用滤镜时，请确保其牢固安装，并请注意，该滤镜不具备防尘和防溅性能。请注意，使用C-PL405会稍增加最近对焦距离，并稍改变对焦距离指示所示的对焦距离。使用调用记忆时，请务必在保存对焦位置之前安装好滤镜。

切勿将C-PL405长时间置于直射阳光下，也不要置于过湿或高温场所。

■ 镜头保养

- 镜头从照相机取下后会恢复至最大光圈。为保护镜头内部，请将其存放在没有阳光照射的地方，或者重新盖上镜头盖。
- 持拿照相机的任何时候都需要支撑镜头，否则可能会损坏镜头卡口。
- 拿起或持握镜头或照相机时，切勿仅持拿镜头遮光罩。
- 保持CPU接点清洁。
- 若镜头卡口橡胶垫圈损坏，请立即停止使用并将镜头送至尼康售后服务中心或尼康特约维修店进行维修。
- 一般情况下，清洁镜头的玻璃表面时去除灰尘即可。
- 带有氟涂层的前部镜片可简单地使用干布进行清洁。污点和指纹可使用一块干净的软棉布或镜头清洁纸去除；清洁时以圆周运动方式从里向外擦拭。注意不要留下污渍，也不要用手指触碰玻璃表面。清除顽渍时，请使用一块沾有少许蒸馏水、乙醇或镜头清洁剂的软布轻轻擦拭。拒水、拒油的氟涂层镜片上的滴状污渍可使用干布去除。
- 若要去除后部镜片或附送的中性色彩（NC）滤镜的污点和指纹，可使用一块滴有少许乙醇或镜头清洁剂的干净软棉布或镜头清洁纸，以圆周运动方式从里向外进行清洁。注意不要留下污渍，也不要用手指触碰玻璃。
- 切勿使用涂料稀释剂或苯等有机溶剂清洁镜头。
- 将镜头放入镜头套之前，请先盖好后盖和插入式前盖。
- 若您将在较长时间内不使用镜头，请将其存放在阴凉干燥的地方以防止发霉和生锈。切不可存放在直射阳光下，也不可与石脑油或樟脑丸一起存放。
- 保持镜头干燥。内部构造生锈将导致无法挽回的损坏。
- 将镜头放置在过于炎热的地方将会使强化塑料部件受损或变形。
- 温度的突变可能导致镜头内外部结露以致损坏。将镜头从温暖的环境带入寒冷的环境或从寒冷的环境带入温暖的环境之前，请先将其置于镜头套或塑料袋中以缓和温度的变化。
- 折叠附送的插入式前盖会产生折痕，但这并不妨碍盖子的使用。
- 若使用安全线保护的设备被损坏或被盗，尼康不承担法律责任。
- 运输产品时，请在包装箱内装入足够多的缓冲材料，以减少（避免）由于冲击导致产品损坏。

■ 随附配件

- 插入式镜头前盖 LC-K103
- 镜头后盖 LF-4
- 镜头遮光罩 HK-41
- 专用插入式滤镜支架[1]
- 40.5mm旋入式中性色彩（NC）滤镜
- 吊带 LN-2
- 镜头套 CL-L2[2]

1 专用配件不适用于一般用途。有关备件或替代品的信息，请咨询尼康售后服务中心或尼康特约维修店。
2 尽管实际上保护玻璃无法从镜头移除，镜头套仍包含一个专用于保护玻璃的容器。该容器可用于存放小物件或在镜头装于镜头套时用来垫住镜头。

■ 兼容的配件

- 40.5mm旋入式滤镜
- 插入式圆形偏振滤镜 C-PL405
- AF-I/AF-S望远倍率镜TC-14E[1]/TC-14E II[1]/TC-14E III[1]/TC-17E II[2]/TC-20E[2]/TC-20E II[2]/TC-20E III[2]

1 若使用望远倍率镜开关将焦距增加至1.4倍，自动对焦将仅适用于支持f/8的照相机。
2 当使用望远倍率镜开关将焦距增加至1.4倍时，自动对焦不可用。当未使用内置望远倍率镜时，自动对焦适用于支持f/8的照相机。

■ 技术规格

类型	带内置CPU、F卡口以及内置1.4倍望远倍率镜的E型AF-S镜头
焦距	• 不使用内置望远倍率镜：180–400mm • 使用内置望远倍率镜：252–560mm
最大光圈	• 不使用内置望远倍率镜：f/4 • 使用内置望远倍率镜：f/5.6
镜头结构	19组27片（包括8枚低色散ED镜片、1枚萤石镜片以及带纳米结晶涂层的镜片）、1枚保护玻璃镜片（带有氟涂层）；内置望远倍率镜具有5组8片
视角	• 尼康FX格式数码单镜反光照相机，不使用内置望远倍率镜：13°40′–6°10′ • 尼康FX格式数码单镜反光照相机，使用内置望远倍率镜：9°50′–4°30′ • 尼康DX格式数码单镜反光照相机，不使用内置望远倍率镜：9°–4° • 尼康DX格式数码单镜反光照相机，使用内置望远倍率镜：6°20′–2°50′
焦距刻度	以毫米为单位（180、200、250、300、350、400）
变焦	使用独立变焦环的手动变焦
对焦	尼康内部对焦（IF）系统（可进行由宁静波动马达控制的自动对焦，也具备用于手动对焦的独立对焦环）
减震	使用音圈马达（VCM）的镜头位移
对焦距离指示	2.0m–∞
最近对焦距离	约2.0m（至焦平面，所有变焦位置）
光圈叶片	9片（圆形光圈孔）
光圈	自动电子光圈控制
光圈范围	• 不使用内置望远倍率镜：f/4–32 • 使用内置望远倍率镜：f/5.6–45
对焦限制切换器	两段位置：FULL（全部）（∞–2.0m）和∞–6.0m
尺寸	约128mm（最大直径）×362.5mm（从照相机镜头卡口边缘开始的距离）
重量	约3500g

尼康公司保留可随时更改本产品的外观、技术规格和性能的权利。

产品中有害物质的名称及含量

标志	部件名称	有害物质					
		铅 (Pb)	汞 (Hg)	镉 (Cd)	六价铬 (Cr (VI))	多溴联苯 (PBB)	多溴二苯醚 (PBDE)
10	外壳	○	○	○	○	○	○
	机械元件	×	○	○	○	○	○
	光学元件	○	○	○	○	○	○
	电子元件	×	○	○	○	○	○

本表格依据SJ/T11364的规定编制。

○：表示该有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在GB/T26572规定的限量要求以下。

×：表示该有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出GB/T26572规定的限量要求。但是，以现有的技术条件要使照相机相关产品完全不含有上述有害物质极为困难，并且上述产品都包含在《关于电气电子设备中特定有害物质使用限制指令2011/65/EU》的豁免范围之内。

进口商：尼康映像仪器销售（中国）有限公司
（上海市蒙自路757号歌斐中心12楼01-07室 邮编：200023）
尼康客户支持中心服务热线：400-820-1665
（周一至周日9:00–18:00，除夕下午休息）
尼康官方网站：http://www.nikon.com.cn/
在日本印刷
出版日期：2018年9月1日

© 2017 Nikon Corporation